サポート情報記事

文書ライブラリからポリシーの下書きをインポートする方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

ライブラリとアクセスを準備する 4

ファイルを選択してインポートする 4

作成した下書きを確認する 5

重複と部分インポートの誤りを避ける 5

インポートしたカードを管理された集合にする 6

再試行前にバッチを照合する 6

公開して検証する 7

ライブラリインポートは、ハブサイトに既に存在する選択ファイルのポリシーカードを作成します。既存の文書群をポリシー管理用に準備する際に役立ちます。ファイルのアップロード、別サイトからの移行、バージョン公開、従業員への割り当ては行いません。

ライブラリとアクセスを準備する

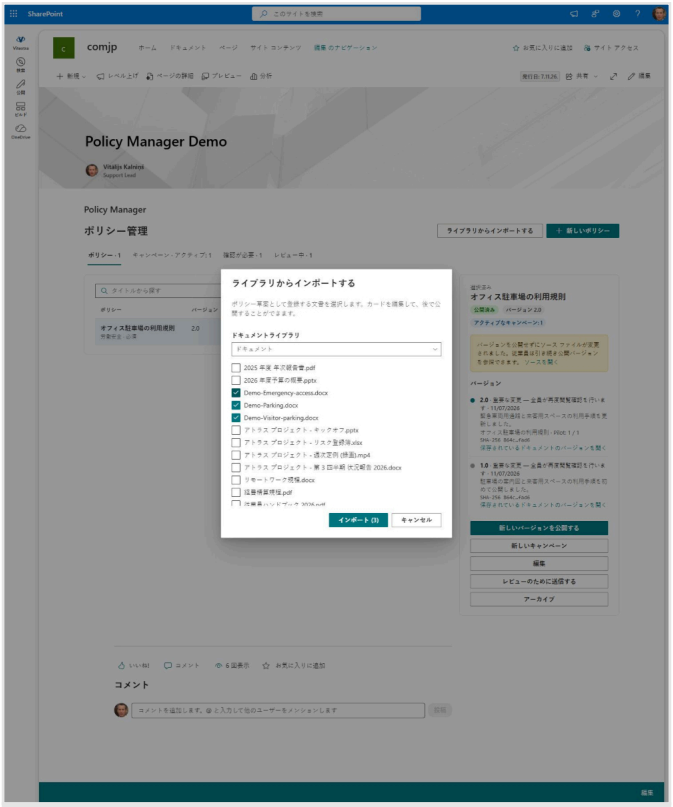
初回インポートとその後の所有者チェックには、管理者またはコンプライアンス管理者アカウントを使います。インポートダイアログは、検出したハブで表示可能な文書ライブラリを読み取ります。製品のバージョンライブラリと、Site Assetsや**Site Pages**など一部のシステムライブラリを名前で除外します。

ソースファイルが読み取り可能で、対象従業員がアクセスできることを確認してください。ハブで利用可能なライブラリ以外のファイルは、インポート選択欄がテナント全体を参照すると期待せず、適切なソース**URL**を持つ個別のポリシーカードを作成します。

ファイルを選択してインポートする

1 Policy Managerを開き、**ライブラリからインポートする**を選択します。同じ操作はセットアップウィザードの最終ステップにもあります。
2 **ドキュメントライブラリ**を選択して、ファイル一覧の読み込みを待ちます。
3 登録するファイルのチェックボックスを選択します。結果を確認できるよう、小規模なバッチから始めてください。
4 **インポート**を選択し、完了を待ちます。ボタンには選択件数が表示されます。
5 報告されたインポート済みカード数を控え、完了後にダイアログを閉じます。

ダイアログはファイル名順に最大**500**件を取得し、追加の結果へのページ移動は行いません。ファイルが提示されない場合は、選択したライブラリとこの上限を確認してください。ファイルが存在しない、または別のファイル種類が未対応である証拠ではありません。



ポリシー下書き用のソースファイル選択

作成した下書きを確認する

インポートは拡張子を除いたファイル名をタイトルに使い、ファイルURLを保存し、文書ソース種類を選択して、既定の閲覧条件を持つ必須の下書きを作成します。説明、確認文、タグ、レビュー日付は、文書の業務上の意味から自動入力されません。

現在のインポート起点は、操作に所有者を渡しません。インポートしたユーザーが所有者になると考えないでください。各下書きを開いて所有者を選び、カテゴリと重要度を確認し、説明と日付を入力して適切な閲覧条件を設定します。所有者のない下書きは、所有者で絞られた作成者ビューに表示されない場合があります。管理者またはコンプライアンス管理者が完成させられます。

重複と部分インポートの誤りを避ける

警告

インポーターは、選択ファイルを指すポリシーカードが既にあるか確認しません。インポートの繰り返しで重複カードができることがあります。ファイルを順番に処理するため、全バッチが完了しなくても、エラー前に一部の下書きが作成されている場合があります。再試行前にポリシー一覧を調べ、まだ不足するファイルだけを選択してください。

結果が空に見える場合は、下書きまたは全状態のフィルターを選び、管理者として確認します。ハブを確認してタイトルとカテゴリのフィルターを解除してください。ファイル名が正しそうという理由だけで、意図しない重複カードのキャンペーンを開始しないでください。

インポートしたカードを管理された集合にする

ライブラリのインポートは棚卸しの段階です。ファイル名が初期タイトルになりますが、内部コードや従業員がわからない文言を含む場合があります。ソースを開く前に従業員がポリシーを区別できるよう、タイトルと説明を確認します。インポートが文書本文から重要度、組織範囲、責任を推測したと考えないでください。

作成者に下書き保守を依頼する前に所有者を割り当てます。インポートは所有者を指定しないため、管理者には見えても、作成者の絞り込みビューに新しいカードがない場合があります。一覧に表示させるためだけに人を選ばず、質問への対応と後の内容レビューを担う所有者を合意します。

各下書きでカテゴリ、確認文、閲覧条件、レビュー日を確認します。カテゴリが適切な確認文を提供する場合はリーダーでその代替適用を検証し、そうでなければ適切なポリシー固有文言を用意します。ソースアクセスは別の確認です。ファイルを登録してもライブラリを読める人は変わりません。

再試行前にバッチを照合する

少数のファイルを選び、インポートの途中でエラーが出たとします。まず下書き一覧を調べ、カードのソースURLを選択したファイルと比較します。特に似た名前のファイルがあるライブラリでは、タイトル一致だけで正しいカードと重複を区別するには不十分です。

ソースURL、作成カードの識別子、割り当てた所有者、公開準備状況を簡単に記録します。これは推奨する管理上の確認であり、追加のインポート機能ではありません。再試行で本当に不足するファイルだけを選び、同じソースの重複カードを公開しないために役立ちます。

目的のファイルが選択欄の読み込み範囲外にある場合は、ライブラリと項目数を確認して不在の理由を特定します。残りを自動的にページ送りすると期待して、同じ選択を繰り返し実行しないでください。利用可能なハブライブラリ外の内容は、通常のポリシーフォームで個別カードを作成します。

バッチを段階的に完了します。作成済み下書きを照合し、メタデータを完成させ、ソースを検証してから承認済み項目を公開・配布します。インポート成功数が測るのは作成カードであり、レビュー済みポリシーや割り当て済み従業員ではありません。

公開して検証する

カードのメタデータとソースアクセスが正しくなったら、KB10502. ポリシーの最初のバージョンを公開する方法で最初のバージョンを公開します。KB10503. Policy Acknowledgementのキャンペーンを作成・開始する方法で別のキャンペーンを作成し、ある従業員の割り当てを検証します。大きな準備バッチを完了した展開と混同しないよう、どのインポート済みカードを確認したか記録してください。